

< 目 次 >

〔解 説〕

- ♣ 新たな県政の飛躍をめざす …… 8
— 新年度当初予算のあらまし —
- ♣ 一県政サロン—
最近の県政から
★緑川ダム ★九州縦貫道…15
- ♣ 消費者の知恵
1. まだまだ不衛生が目立つ美容院…26
2. 牛乳消費状況調査から ……27
- ♣ 交通安全コーナー
1. あなたの町にも交通公園が ……30
2. 熊本県交通安全憲章 ……31
- ♣ 県政なんでも相談室…32
- ★ ルポ ★
大型近代農業へのみち ……28
— 不知火干拓の状況 —

<ここに人あり>

若い調教師 北村司さん…25

- 町から・村から
南関町・田浦町・竜ヶ岳町 ……35
- 広報資料 …… 36

▶ 随 想 ◀

明石 巖・本田節子・川野順二

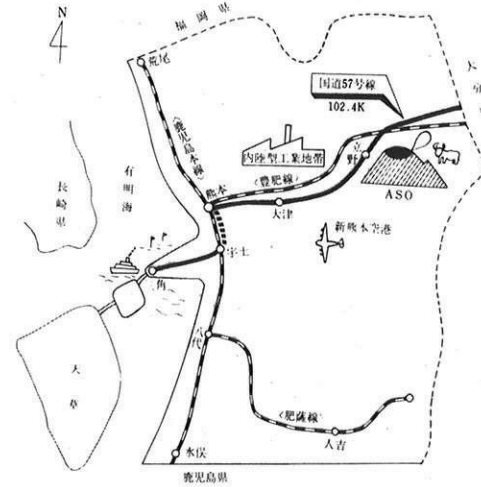
- ★ グラビア・ページ ★
- ★ ルート57を行く ★ 特集—建設進む緑川ダムと九州縦貫自動車道 ★ くまもとの特産—プリンス・メロン— ★ ある青春 ★ 県政ハイライトほか

センターカラー <やまなみハイウェイ>

表 紙 <人吉の酒蔵>



— 県営熊本城プールにて —



阿蘇高原から有明海へ

九州山脈の山深い熊本県と大分県の県境に、木目もあらわに2本の境界標が、がんじょうにつたっていた。“距 熊本元標 60軒841米”いつ頃建てられたのか、白く風化した文字をそこだけかすかに残していた。

県内を走るルート57は、ここから三角港まで、102.4K（うち3号線との重用区間13.6K）を横に走っている。

観光バスの隊列が続く阿蘇高原。そして大津の杉並木。その昔、毛やりをきらめかせた細川五十四万石の参勤交代の道を、今、自動車が忙しげに行き交っている。

県の心臓部、熊本市を過ぎ、宇土半島へ出ると、夏の日にきらめく有明海の青い海原が、視界いっぱい広がる。水と干潟のおりなす造形美が見事だ。

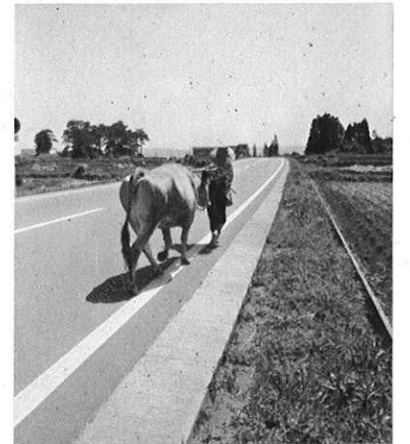
西の玄関口三角港は、乗降の観光客で賑わいをみせ、遠ざかる船からは、いつまでも白い手が振られていた。



↑西の玄関口三角港。貿易港であり、国際観光ルートの要衝である。



↑熊本と大分の県境から暫らくは、山肌を縫って



↑舗装道を赤牛が歩いていく、阿蘇ならではの風景にも時々出会う。



↑大津街道。沿線には近代的な大型誘致工場が建っている。内陸型工業地帯としての期待が大きい地域。



↑有明海の潮風が車窓に心地よい。